

石炭火力発電所における燃料運用最適化システムの本格運用開始について

2022年1月21日
関西電力株式会社

関西電力株式会社（以下、関西電力）と株式会社ディー・エヌ・エー（以下、DeNA）は、2019年2月5日に石炭火力発電所の燃料運用最適化を行うAIソリューションの共同開発を開始し、外販ビジネスに向けて協業を進めることに関して基本合意しました。そして、「K-VaCS（ケイボックス）」のサービスの一つとして、他社への展開・導入を両社共同で進めていくこととしていました。

[[2019年2月5日](#) お知らせ済み]

また、DeNAは、より積極的かつ継続的な投資による事業の成長を実現させるため、本事業をスピンオフして株式会社ALGO ARTIS（以下、ALGO ARTIS）を設立しており、関西電力はALGO ARTISと資本業務提携することで、引き続き、協業を進めておりました。

[[2021年9月30日](#) お知らせ済み]

関西電力とALGO ARTISは、このたび、熟練技術者のノウハウのAI（アルゴリズム）移植に成功し、本最適化ソリューションの全ての検証・改良を終えたため、本格運用を開始することになりました。本最適化ソリューションを用いることで、従来の1/10以下の時間で、かつ、より長期の運用計画を作成できるようになり、また、年間数千万円の運用コスト削減効果が期待できます。

今後は、本最適化ソリューションをK-VaCSのサービスの1つに加え、他社への展開・導入を進めてまいります。関西電力は、多様化するお客さまニーズに寄り添い新たな価値の提供を行う「サービス・プロバイダー」を目指し、お客さまや社会の幅広い課題の解決に貢献してまいります。

以上

別紙：AI（アルゴリズム）を用いた石炭燃料運用最適化システム

株式会社ALGO ARTISにおける発表は[こちら](#)

現場の課題

- **業務量大**
燃料運用のスケジューリング業務は、複雑な運用制約が多く**検討に多大な時間を費やしていた**
- **属人化**
熟練技術者のノウハウとして暗黙知化されており、**人によるバラツキや技術伝承に課題を抱えていた**
- **運用改善余地**
組合せ数が膨大でトラブル時は十分な検討時間を確保できない等、**人手による最適化に限界があった**



熟練社員ノウハウをAI継承により属人化解消 & 効率化・高速化・最適化
ALGO ARTIS社と共に、“現場に「使える」A I”を開発